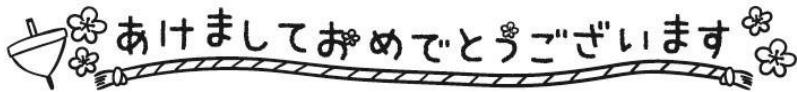




# つくしごみだより

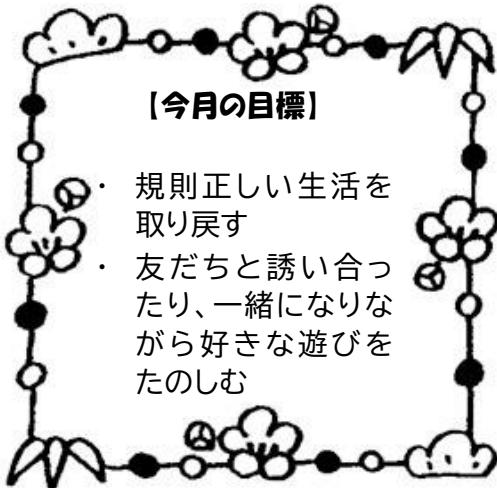
# 1月



新しい年を迎えるました。保護者の皆さまのお力添えのおかげで無事に新年を迎えたこと、心より感謝いたします。

当園でのインフルエンザ A 感染拡大により、保護者の方々にご協力を頂きまして、本当にありがとうございました。

寒い日が続きますが、子どもたちは元気いっぱいに園庭をかけまわり思いっきり遊んでいます。まだまだ感染症の流行る時期です。体調に気をつけながら、元気いっぱい笑顔いっぱい過ごして行きたいと思います。保護者の皆さまと一緒に子どもの成長を応援し、一日一日を大切に見守っていきたいと思いますので、本年もどうぞよろしくお願ひします。



## 【今月のうた】

- ・コンコンクシャンのうた
- ・ゆき
- ・お正月



手洗いや着替え、食器の片付けなど、少しづつ身の回りのことを自分でやろうとする姿が見られるようになりました。進級に向けて、自分でできるところはそっと見守り、やろうと頑張る姿を伸ばしてあげたいと思っています。

靴下をつま先だけはかせてあげたらできる子、手を添えて一緒にやつたらできる子など、それぞれの様子に合わせて、子どもがちょっとでも一人ででき、「できた！」という気持ちが持てるように援助しています。そしてできた時には、「はけたね、うれしいね。」と言葉にして一緒に喜ぶことで、できたという「満足感」と、一緒に喜んでくれる「大好きな大人の存在」が次の意欲へつながっていきます。

「できた、できない」だけでなく「やってみたい、やってみよう」という意欲、その心を大切に育んでいきたいですね。ご家庭でも余裕のある時はやってあげるのではなく、見守る時間も大切にしてみてください。



お話が上手になってきたつくし組。保育者が援助せずとも「かして」「やだ！」「どうぞ」などの言葉が聞こえてくるようになりました。

「これ買ったの？」「先生も食べる？」などの二語文も増え、言葉でのやり取りが楽しくなっています。



色々なことに興味を持ち、指差して「これは？」と聞いたりすることも増えてきました。指差しは育っていく上でとっても大事。まだ十分に言葉を話すことができない子どもにとって、指差しは大切なコミュニケーションの一つです。

子どもの指差しや言葉を覚え始めの「これは？」には「これはリンゴだよ」「ワンワンいたね」など優しく答えてあげましょう。終りが見えないことが多いですが…言葉修得の大切な第一歩です。